

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2003-501529(P2003-501529A)

【公表日】平成15年1月14日(2003.1.14)

【出願番号】特願2001-502489(P2001-502489)

【国際特許分類】

C 08 G	18/10	(2006.01)
C 08 G	18/42	(2006.01)
C 08 G	18/74	(2006.01)
C 09 J	175/04	(2006.01)

【F I】

C 08 G	18/10	
C 08 G	18/42	Z
C 08 G	18/74	Z
C 09 J	175/04	

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】最初に、0.7:1~1:0.7のNCO:OH比にて、7000以上の分子量を有するヘキサンジオールアジペートポリエステルをポリイソシアネート又はジイソシアネートと反応せしめ、次いで分子量50~15,000の低分子量ポリオールを反応せしめることにより製造される、ポリウレタンプレポリマー。

【請求項2】前記低分子量ポリオールが3官能基ポリオールを含む、請求項1に記載のポリウレタンプレポリマー。

【請求項3】前記低分子量ポリオールが、ポリエステル、ポリエーテルポリオール、ポリアルキレンポリエーテルポリオール、ポリアセタールポリオール、ポリアミドポリオール、ポリエステルアミドポリオール、ポリチオエーテルポリオール、ポリブロピレングリコール及びその組み合わせより成るグループから選択される、請求項1又は2に記載のポリウレタンプレポリマー。

【請求項4】請求項1~3のいずれかの記載のポリウレタンプレポリマーと追加のジ又はポリイソシアネートを含み、該ポリウレタンプレポリマーと追加のジ又はポリイソシアネートが1.2:1~3:1のNCO:OH比にある、イソシアネート末端反応性熱溶融接着剤。

【請求項5】更に2,2-ジモルホリノエチルエーテル触媒、ジ(2,6-ジメチルモルホリノエチル)エーテル触媒、接着促進剤、希釈剤、可塑剤、充填剤、鎖延長剤、熱可塑性樹脂、酸化防止剤、顔料、紫外線吸収剤及びその組み合わせより成るグループから選択される任意の添加剤を含む、請求項4に記載の反応性熱溶融接着剤。